

柔軟さを味方にしよう

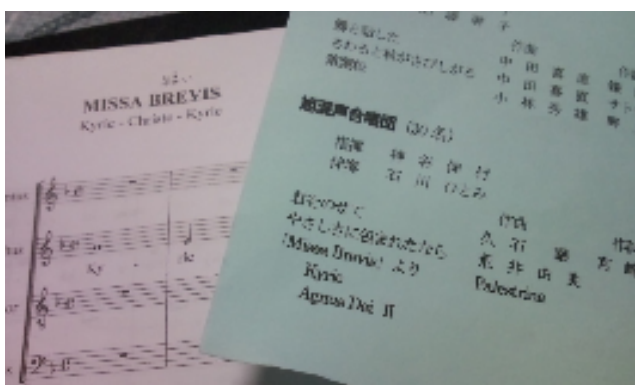
- 2012.09.16 Sunday
- 10:00

- 瀬戸の合唱フェスティバルをきっかけに非常事態宣言?が発令され、改めて自分たちを振り返る機会ができた。受け取り方は十人十色だな・・・と思ったここ2週間。私自身の反省も大きかった。昨年の秋の大きな演奏会の難しさやみんなの様子を見ていて、団員の心が離れていかなければいいが・・・との声もあり、愛唱曲集発行とまずは大らかに歌おう！をコンセプトに年度始めの自主練計画を練った。けれどここにきて思わぬ事態。まさに予想どおりの試行錯誤状態でのこの半年。でも昨日の臨時役員会や練習後の初のパートミーティングの様子を見て旭は皆が頭が柔らかい・・・と感じた。提案したことへの団員の反応の速さとPLを始めとするスタッフの対応の機敏さ。ほとんどのスタッフの軸がぶれていないし、何しろ前向き。限られた時間の中での技術スタッフとのたくさんのやりとりに心強さも増す。やっぱりみんな旭のことが好きなんだな・・・と。もちろん私もよ。まあ路線変更、いや延期を余儀なくされたけど、ここは柔軟かく参りましょう。いますぐのレベルアップはできないけど、この柔軟さがいつか新しい旭の輝きにつながるよう先生方には長い目で見ていただきたく。。。う＝＝＝ん、しかし、いつも長い目で見ていただいているよな気もしますがね(笑)先生方、よろしくお願いいたします。瀬戸の花火のようにきれいに花開く日を楽しみに♪



瀬戸合唱フェスティバル

- 2012.09.02 Sunday
- 16:28



午前10時集合で声をだし、本番は正午。昨夜のリハ室でダメ出しされたそのままの演奏で終わった。。。神谷先生からご高評を仰ごうとひきつった顔つきでロビーに集まった団員に先生から「感動しました。またがんばりましょう。以上」その言葉の向こうに見えることは何か？改めて考える必要あり。見直さなくてはならないことが山積みであることをランチも兼ねて若手？女声陣有志でいろいろ話す。早速試みよう！ということも出て、少しずつ実行したい。後味の悪さに、じっくり話し合った心地よさも加味されまた 皆がそれぞれの立ち位置で動く。